

産経新聞 令和元年（2019年）12月16日（月）

足して10の援助にやりがい

大学生 辻居美紀 21

将来のことを、本気で考えなければならぬ時期になった。不安な気持ちや、自分がどうしたらいいかわからぬまま、幼稚園へ教育実習に行った。

覚悟していたが、当初は想像をはるかに超える疲労感があった。最終日までやり遂げられるか。自信はな

かったが、日を追うごとにそんな気持ちはなくなってきた。現場の先生のすごさを知ったからだ。

先生は常に子供の見本となり、行動していた。「足して10」の援助を心掛けていると教えてもらった。子供が2しかできていなければ、先生が8の力を出して

助ける。

このアドバイスで、子供が前向きに活動できるよう意識し、積極的に子供とかわることができた。実習を終えて、この仕事にやりがいを感じた。

将来どの道に進むかは、まだ分からない。でも、出会った子供たちに恥じないような行動をしたいと思う。

（大阪市生野区）